

“修了児の保護者の話を聴く会”（第1弾）を開催しました。

療育センターを利用されているお子さんの保護者を対象に、お子さんの就学先の情報や、就学までの流れ、小学校生活への見通しを持つことを目的とした、第1回の療育講座を開催しました。

当日は、在園児の保護者86名、修了児の保護者20名が参加しました。

“令和”の時代に入ってから第1回目となる“療育講座”は、お子さんが療育センターを修了され、小学2年生と5年生になった保護者の方にお越しいただき、ご自身の経験から、

- ①就学先についてどんなことを考え、決められたか。
- ②就学までに大切にしてきたこと、また大切にしておくべきだと感じたこと。
- ③現在の小学校での生活や頑張っていること等について、お話しいただきました。

また、保護者の方の貴重なお話と共に、各市町に分かれて、教育委員会の先生方から、

- ①就学までの流れ（就学相談、学校見学、就学児健診、1日入学等）
- ②現在の各小学校の現状（特別支援学級、通級指導教室等）
- ③特別支援教育について（各市町で取り組まれていること等）についてお話を聞きました。



後半は、修了時の保護者の方を囲んでの交流会を開き、小学校生活での授業の様子、宿題、登下校、友達関係、子ども会等の地域の活動等について、お子さんの様子を交えてお話しいただきました。

次年度に就学を迎える年長の保護者の参加が中心でしたが、年中の保護者の参加もありました。修了児の保護者のみなさんからの体験談は、何よりも貴重なものでした。